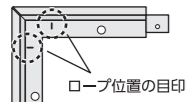


※この説明書は、全サイズ共通です。
※ご使用後の部品は、サイズ変更や、布を替える際に使いますので、なくさないよう保管してください。

セット内容

ご使用になる前に、内容物をご確認ください。

- ・フレームパーツ (図は裏側からみたところです)
 - ・下敷きボード (白い厚紙)
 - ・押し込みヘラ
 - ・押さえ用ロープ
 - ・ネジ (ワッシャー付) / ナット
 - ・使い方説明書
 - ・布*2
- ・アングルフレーム
- ・ストレートフレーム*1



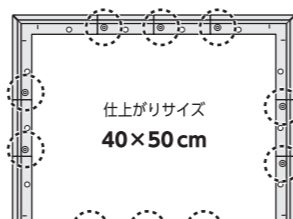
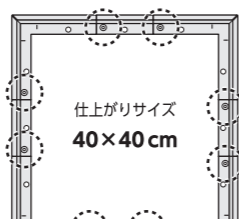
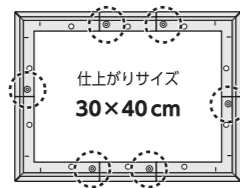
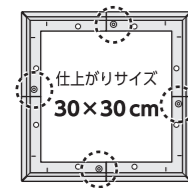
※1 [布*パネ<30×30>]には、ストレートフレームは入っていません。
※2 [布*パネフレームセット]には、布は入っていません。

準備するもの

- ① アイロン・アイロン台・あて布
- ② 定規またはメジャー
- ③ しるし付けペン (後で消せるタイプ)
- ④ 布切はさみ (布が必要なサイズにカットします)
- ⑤ プラスドライバー<2番> (フレームの組立に使用します)
- ⑥ セロハンテープ
- ⑦ はさみ (押さえ用ロープをカットします)
- ⑧ 布* ([布*パネフレームセット]には布は入っていませんのでご準備ください)

<フレームとネジ留めの位置> ●ネジ留め箇所

*図は裏側からみたところです



フレームの種類	数量
アングルフレーム	4個
ストレートフレーム	なし

フレームの種類	数量
アングルフレーム	4個
ストレートフレーム	2個

フレームの種類	数量
アングルフレーム	4個
ストレートフレーム	4個

フレームの種類	数量
アングルフレーム	4個
ストレートフレーム	6個

※別売の「布*パネ延長フレーム(71-121)」を使えば、10cmサイズを大きくできます。(最大50×50cmまで)

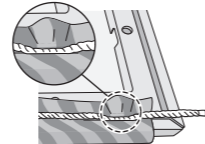
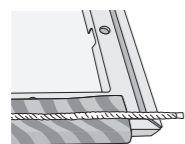
別途、お好みの布を準備される時は、ご使用前に下記の方法で布をチェックしてください。

適している布	普通地〜やや厚地 (10オンスデニム、11号帆布程度の厚さまで) で織目の詰まった布
適さない布	薄地、透けた布やレース地、厚地 (12オンスデニム、10号帆布、コーデュロイ等の分厚い布)、コーティング加工など加工布、織目が粗い布

※布を張った時、角に入れる時に破れることがあるので、アンティーク布等、弱い布は使用しないでください。

布端をフレームに巻き込んでロープをフレームの溝に押し込み、布が固定できるかチェックします。

<布のチェック方法> ※溝の中に布とロープが押し込めない場合は、布が固定できないので使用いただけません。



- ① 布端をフレームの裏側に折り上げ、溝の上にあたる部分の布の上にロープを置きます。
- ② 押し込みヘラでロープを布と共にフレームの溝に押し込み、布端とロープが溝の中に入るかどうか確認します。(押し込みヘラの先をロープの縄目に沿って差し込み、下に押し込んでいくと入りやすいです)

フレームを作る前に

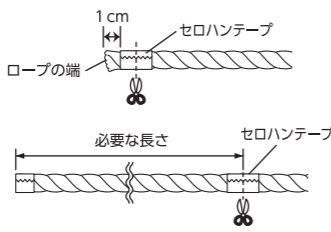
■布をカットします

※柄の位置を合わせたい場合は、フレームを組み立ててから布をカットしてください。(→右記「柄の位置を合わせたい場合は…」参照)

- ① 布はフレームに巻き込んで固定するため、**フレームのサイズより縦横10cmずつ大きいサイズが必要**です。
※布のサイズは、「*必要な布のサイズ/ロープの長さ・本数」の表をご覧ください。
- ② 布をカットしたら、アイロンをかけてシワを伸ばします。

■押さえ用ロープをカットします

- ① ロープの両端の端始末をします。
ロープの端から1cm内側にセロハンテープを巻き、テープの中央部分をはさみでカットします。
- ② フレームのサイズに応じて、ロープをカットします。
使用中にロープの端がほどけないように、セロハンテープを巻いてからテープの中央部分をはさみでカットして使用します。



※ロープの長さとは本数は、「*必要な布のサイズ/ロープの長さ・本数」の表をご覧ください。

★フレームを組み立てた後、フレームに付いている「ロープ位置の目印」を目安にカットすることもできます。

カットしたロープの残りは、捨てずに保管するとサイズ変更のときに便利です

***必要な布のサイズ/ロープの長さ・本数**

フレームサイズ	布のサイズ(約)	ロープの長さ(約)×本数
30×30cm	40×40cm	21cm×4本
30×40cm	40×50cm	21cm×2本/31cm×2本
40×40cm	50×50cm	31cm×4本
40×50cm	50×60cm	31cm×2本/41cm×2本

柄の位置を合わせたい場合は…

例) フレーム<30×40cm>の場合 必要な布のサイズ: 約40×50cm

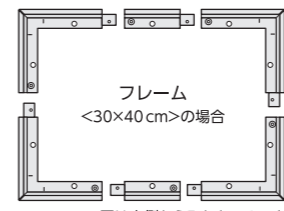
- ① 組み立てたフレームを、表に向けた布の上に置きます。
- ② 柄の位置を確認したら、しるし付けペン等でフレームから5cm外側の位置にしるしを付けます。
- ③ 布切はさみでカットします。

カットする位置

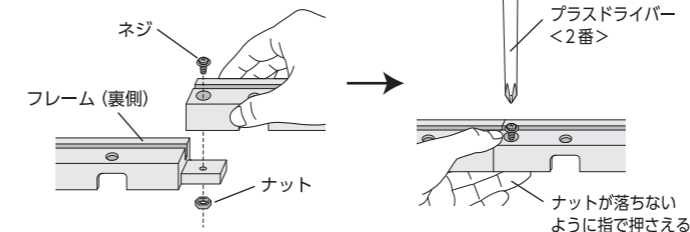
ファブリックパネルの作り方

作業は平らな台の上でおこなってください

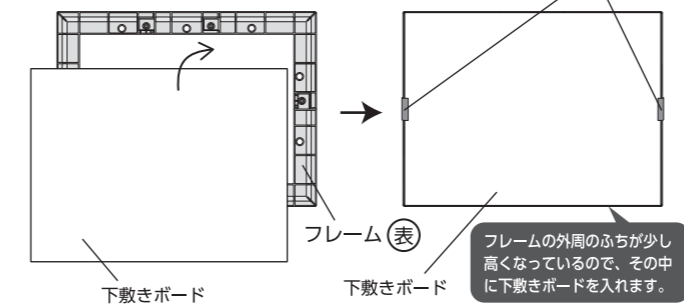
- ① フレームパーツを組み立てます。
プラスドライバー<2番>を使って、フレームパーツ全てをネジとナットで固定します。
※ネジ留めの位置は、左記「フレームとネジ留めの位置」をご覧ください。



注意
ネジは、ガタつきがない程度に締めてください。(締めすぎると、破損の原因になります)

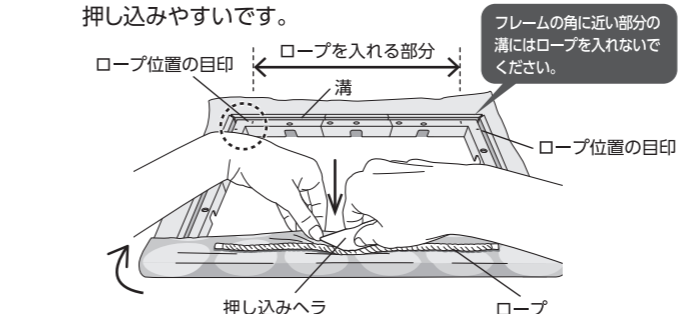


- ② フレームを表に向け、付属の下敷きボードを上置き、セロハンテープ等でフレームに貼り付けます。



- ③ 布を準備します。
(→左記「フレームを作る前に」参照)
布とフレームを裏向きにし、フレームを布の中心にのせます。

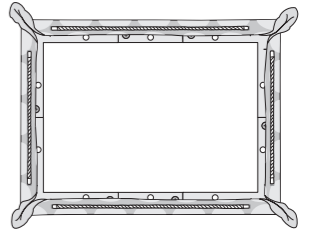
- ④ 一辺の布端をフレームの裏側に折り上げ、溝の上にあたる部分の布の上にロープを置きます。(ロープ位置は「ロープ位置の目印」に合わせます)
押し込みヘラでロープを溝に軽く押し込みます。
★ロープの縄目に沿ってヘラ先を入れると押し込みやすいです。



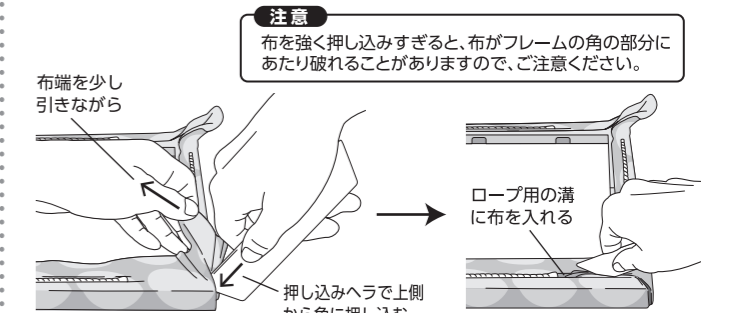
表に向け、布がゆがんでいないかを確認したら、向かい合った辺にも同様にロープを軽く押し込みます。
※布がゆがんでいる時は、ロープをはずして布を再度セットしてください。(→右記「布のはずし方」参照)

注意
布は引っ張りすぎないでください。柄がゆがんだり、フレームがゆがむおそれがあります。

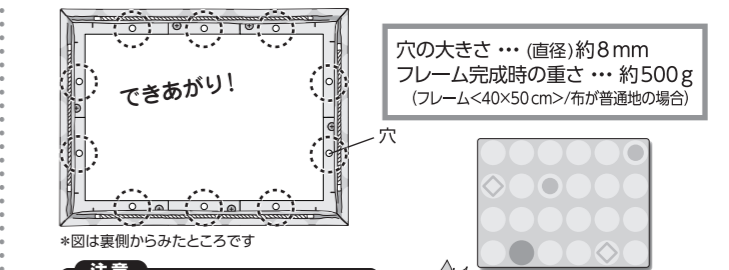
- ⑤ 全てのフレームの溝にロープを軽く押し込みます。
表に向け、布がゆがんでいないかを確認したら、押し込みヘラで全てのロープをフレームの溝の奥までしっかり押し込みます。



- ⑥ フレームのコーナーの処理をします。
フレームの裏のコーナーに出ている布をつまみ上げ、押し込みヘラを使ってフレームの角にあいた隙間に上側から押し込みます。
入りきらなかった布は、押し込みヘラでロープ用の溝に入れ込み、布を整えてください。



- ⑦ 壁に飾る場合は、フレームの裏にある穴を利用し、市販のフックやブッシュピン、ひも等を通して飾ります。



できあがり!
穴の大きさ…(直径)約8mm
フレーム完成時の重さ…約500g
(フレーム<40×50cm>/布が普通地の場合)

※押し込みヘラ、余ったロープは捨てずに保管しておいてください。(サイズ変更や、布を替える際に使います)

布のはずし方

フレームを裏に向けて布端を引き、ロープをはずすと、布は簡単にはずせます。
※布を交換したい時も同様にしてはずします。



フレームサイズを変更して使用する場合

・下敷きボード (下敷きボードには白い厚紙が適しています)

付属の下敷きボードをカットするか、フレームサイズに応じた下敷きボードをご準備ください。

フレームサイズ	下敷きボードのサイズ(約)
30×30cm	29.5×29.5cm
30×40cm	29.5×39.5cm
40×40cm	39.5×39.5cm
40×50cm	39.5×49.5cm
50×50cm	49.5×49.5cm

・押さえ用ロープ
付属のロープをカットしてお使いください。
ロープが足りない場合は、市販のポリエステルロープ(5mm・三つ打)をお買い求めください。

▼製品に不都合な点がございましたら、お買上げ店名をご記入の上クローバー(株) 〒537-0025 大阪市東成区中道3-15-5 「お客様係」まで現品をお送りください。「お客様係」 TEL.(06)6978-2277